

令和2年度 長与町高田保育所自己評価結果

平成20年3月に告示された保育所保育指針において、保育士等及び保育所の自己評価の実施並びにその公表が努力義務として位置づけられました。このことを踏まえ、高田保育所では保育の質の向上を図るために、保育所の自己評価を実施しました。

自己評価を通して、自分たちの保育のよさや課題に気づき、次の保育計画へ活かし、改善していくことで、保育所の専門性・組織力を高め、保護者の皆様や地域の皆様との信頼関係がよりよく、深まるよう努めます。

【実施職員数】33名

【評価項目】保育所保育指針に示された項目に沿って設定

【評価期間】令和2年1月1日～12月28日

【評価の判定】1. ほぼ実施 (100%~90%) 2. おおむね実施(90%~61%) 3. あまり実施せず(60%~21%) 4. ほとんど実施せず(20%~0%)

5. 該当せず(自己評価を行った職員が現在行っている保育業務に質問項目の内容が含まれない・集計からは除外する)

【評価方法】1~4の回答数を分母とし1~4の割合を出す。さらに章・節ごとに1~4の平均割合を出し、1~4を次のように決定する。

1...1のみで40%以上かつ1と2の全項目の合計平均が80%を満たすとき。

2~4...1に該当せず、2~4の中で一番割合が大きいものを評価とする。

この結果をもとに、保育実践状況等を踏まえて、章・節ごとに保育所としての自己評価とする。

【公表内容】項目は138項目にわたるため、代表的な4または5項目とその結果、保育所としての自己評価と意見・改善点。

なお、回答率(割合%)は小数点第1位を四捨五入したため、合計が100%にならない場合がある。

項目		評価(割合)				意見・改善点
第1章 総則(全4項目)		1	2	3	4	1については「保育方針」を職員室に掲示をし、常に確認ができるようにしている。全職員会議では、保育方針に基づく保育の方法等の話を所長が行っている。 2については、チェックリストを用いて、各クラスの職員同士で確認を行った。 4については、個人情報には施錠できる棚に保管し保育所外に持ち出しはしていない。
1	「保育方針」「保育計画」に基づき保育を行っていますか	27%	73%	0%	0%	
2	子どもの最善の利益を考慮し、人権に配慮した保育ができていますか	39%	61%	0%	0%	
3	保育の「ねらい」や「内容」を保護者に分かるように説明できますか	33%	53%	13%	0%	
4	入所・利用している子どもの個人情報の(あなた自身の)管理は、適切だと思いますか	68%	32%	0%	0%	
保育所としての自己評価		1 ほぼ実施				
第2章 子どもの発達(全7項目)		1	2	3	4	子どもを一人の人として、尊重し、信頼関係を築き、安心して過ごせるよう尽力している。 5については、一人ひとりの成長発達、意欲、欲求を汲み取りながら、それぞれにあった関り、活動の提供などを行い、さらに意欲や能力を引き出す努力をしている。
1	子どもの発達は、豊かな心情、意欲、態度を身につけ新たな能力を獲得していく過程であることを理解していますか	76%	24%	0%	0%	
2	子どもの情緒を安定させ、人への信頼感を育てるために一人ひとりの子どもを愛し、信頼していますか	79%	21%	0%	0%	
3	子ども同士の関係の基礎となるように、あなたは一人ひとりの子どもと信頼関係を構築していますか	39%	61%	0%	0%	
4	心身の発達の個人差を理解するために、一人ひとりの生理的、身体的の諸条件や生育環境の違いを把握していますか	33%	67%	0%	0%	
5	発達過程区分は、同年齢の均一的な発達の基準ではなく、一人ひとりの子どもの発達過程として捉えていますか	55%	45%	0%	0%	
保育所としての自己評価		1 ほぼ実施				
第3章 保育の内容		評価(割合)				「一人ひとりを大切に」という保育目標のもと、子どもが保育所で快適に健康で安全に生活ができ、情緒の安定が図れるよう配慮している。0~2歳児クラスでは担当制を導入し、子どもの小さな変化、要求に応えられるようにしている。 教育は子どもの主体性を重んじ、遊びを通して様々な能力を育むことができるように環境と日課を工夫している。
1. ねらい・内容(全3項目)		1	2	3	4	
1	保育所保育は「養護と教育」が一体となって展開されることに留意していますか	61%	39%	0%	0%	
2	「養護」とは、子どもの生命の保持と情緒の安定を図るための援助であることを理解していますか	61%	39%	0%	0%	
3	「教育」とは、子どもが健やかに成長し、活動がより豊かに展開されるための援助であることを理解していますか	55%	45%	0%	0%	
保育所としての自己評価		1 ほぼ実施				
(1)養護(生命の保持・情緒の安定)(全8項目)		1	2	3	4	2については定期的に消毒を行っている。 3については、全クラスわらべうたによるスキンシップを図っている。 5については、子ども個々のペースを把握し、年齢に応じて、クラス全員での一斉活動をひかえ、個別活動、少人数のグループ活動を行っている。その結果、子どもの育ちつつある姿を見極め、自立への支援を行うことができている。
1	登園時の子どもの健康観察を行っていますか	77%	23%	0%	0%	
2	子どもが触れたりする物や場所など、衛生的な環境を保てるように常に気をつけていますか	58%	42%	0%	0%	
3	子どもとの温かなやり取りやスキンシップを常に心がけていますか	61%	39%	0%	0%	
4	子どもが不安定になった時にいつでも支えられるよう、一人ひとりを視野に入れてしていますか	39%	61%	0%	0%	
5	「早くしましよ」など、急かす言葉を不必要に使わないで、状況や一人ひとりに合わせた対応を心がけていますか	12%	85%	3%	0%	
保育所としての自己評価		1 ほぼ実施				

項目		評価(割合)				意見・改善点
(2)教育 1)健康 (全8項目)		1	2	3	4	1については、0～2歳児クラスは家庭と連携を取り個別に日課を作成し、生活リズムが身につくよう保育を行っている。幼児クラスは成長発達に合わせて、柔軟な日課を作成している。 2. 3については、個別で指導を行うことにより、成長発達に合わせた指導を行うことができている。 4については3歳から始めている。 4歳から始める当番活動は楽しみにしている。
1	健康な生活のリズムを身につけるよう、子どもの一日の生活の流れを考えながら保育していますか	48%	52%	0%	0%	
2	食事の前や排せつの後の手洗いを励行するなど、清潔の習慣が身につくよう援助していますか	70%	27%	3%	0%	
3	食事、排泄など、生活に必要な活動の仕方を身につけるよう、働きかけていますか	63%	34%	3%	0%	
4	食事・おやつ準備や片付けに参加したり、自分たちでできるよう配慮していますか	61%	39%	0%	0%	
5	衣類の着脱を自分でやろうとしている子どもの気持ちを大切にしていますか	60%	40%	0%	0%	
保育所としての自己評価		1 ほぼ実施				
(2)教育 2)人間関係 (全9項目)		1	2	3	4	3については、言葉で説明するだけではなく、視覚的情報を保育室に掲示したり、本や紙芝居、カードなどを用いながら指導を行っている。 4については、3～5歳児は異年齢で交流する機会を定期的に持つことで、年少の子どもを助けたり教えたりできる機会が増え、人の役に立つ喜びが味わえていると感じる。
1	子どもが、保育士や友達と共に過ごすことの喜びを感じることができるような配慮をしていますか	44%	56%	0%	0%	
2	つまづきや葛藤、ケンカなどを、子どもの育ち(発達)に欠かせない物としてとらえ、対処していますか	52%	45%	3%	0%	
3	園生活の中で、順番を守るなど決まりの大切さを理解できるように、丁寧に説明していますか	59%	38%	3%	0%	
4	当番活動や保育士の手伝いをするなど、人の役に立つ喜びを味わえるようにしていますか	32%	68%	0%	0%	
5	高齢者や地域の人との関わり、親しみや感謝の気持ちを味わうことができる機会をつくっていますか	13%	38%	38%	13%	
保育所としての自己評価		1 ほぼ実施				
(2)教育 3)環境 (全8項目)		1	2	3	4	2については令和2年度は園庭に土の山を設置し、山の昇降、泥遊びなど楽しんだ。夏場は、水、氷の特徴について、遊びをとおして体験をした。 3については、畑で野菜を栽培した。カブトムシを幼虫から育て、名前を付けて、愛情をかける場面も見られた。 5については、新型コロナウイルス感染拡大防止のために地域の方とのふれあいの機会が少なくなった。今後は、職業や仕事に関する情報や知識を得られるように、保育環境や遊びの設定を行うことで意識を育てていきたい。
1	身近な自然を通して、その美しさ、不思議さなどに気づくことができるようにしていますか	41%	59%	0%	0%	
2	水や砂や土などを使って、その性質や仕組みに合った遊びを展開できるように工夫していますか	31%	66%	3%	0%	
3	身近な動植物を飼育・栽培するなど、それらに興味や関心を持つことのできるよう配慮していますか	35%	55%	10%	0%	
4	集めてきた木の実を数えたり、数量や図形などに関心を持つよう工夫していますか	14%	67%	19%	0%	
5	園外保育などで地域で働いている人たちに会おう機会をつくっていますか	22%	44%	22%	11%	
保育所としての自己評価		1 ほぼ実施				
(2)教育 4)言葉 (全11項目)		1	2	3	4	2については、子どもが表現する内容、その時の気持ちどちらも大事に受け止めるよう心掛けている。保育者が受け止めることが人の話を聴くことのスタートになると感じている。 4については、長与町図書館の移動図書館を活用し、自分で選ぶことの体験も大事にしている。
1	あなたは、日々心のこもったあいさつを子どもと交わしていますか	70%	30%	0%	0%	
2	子どもが見たこと、聞いたこと、感じたことなどを、その子なりの言葉で表現する機会を大切にしていますか	58%	42%	0%	0%	
3	人の話をじっくりと聞き、その内容を理解することの大切さに子どもが気づくように働きかけていますか	37%	63%	0%	0%	
4	子どもの興味や関心に合わせた絵本や物語の選定をしていますか	44%	47%	9%	0%	
5	「ごめんなさい」「ありがとう」など、生活に必要な言葉をいつもつかえるように保育していますか	64%	36%	0%	0%	
保育所としての自己評価		1 ほぼ実施				
(2)教育 5)表現 (全7項目)		1	2	3	4	3については、一定期間展示をして、送迎時に保護者も見られるようにしている。 4については、子ども達が自由に制作が行えるよう環境を整えている。ただし、はさみなど危険なものは時期や時間を考えながら出している。
1	歌ったり、踊ったりして、音や動きの楽しさに気づき、楽しめるよう援助していますか	30%	63%	7%	0%	
2	美しい物や心を動かす出来事にふれ、イメージを豊かにできるような機会をつくっていますか	22%	70%	7%	0%	
3	子どもが作ったり表現したものを、お互いに見せ合ったりするような機会をつくっていますか	24%	71%	5%	0%	
4	自由に描いたり作ったりできるように、材料や用具を子どもが自由に取らせる場所に置くなど工夫していますか	24%	64%	12%	0%	
5	子どもがいろいろな素材に触れ、親しみ、イメージを豊かに持てるよう配慮していますか	17%	61%	22%	0%	
保育所としての自己評価		1 ほぼ実施				
2. 保育の環境 (全5項目)		1	2	3	4	2については、保育者の声は騒音にもなりうることを意識して保育をするよう所長が指導を行っている。 4については、各クラスにままごと、世話遊び、積木机上での手先を使う遊びなど、子ども達が主体的に自分で選んで遊べるようコーナーの環境を整えている。 5については、自由に遊べる時間は十分に確保している。連続して長く設けることで、遊びを通しての学びが深まると考え、日課を工夫しているところである。
1	季節に合わせて、保育室のインテリアなど環境に工夫していますか	35%	50%	10%	0%	
2	保育中のあなた自身の声の大きさは、子どもにとっていつも適切な大きさですか	18%	73%	9%	0%	
3	子どもの発達に即した玩具・遊具・用具を用意していますか	25%	75%	0%	0%	
4	こどもの興味に合わせて、好きな遊びができるコーナーを設けるよう工夫していますか	48%	52%	0%	0%	
5	日々の保育の中に、子どもが自由に遊べる時間帯を設けていますか	69%	23%	8%	0%	
保育所としての自己評価		1 ほぼ実施				

項目		評価(割合)				意見・改善点
第3章 保育の内容		評価(割合)				2. 3. 4においては0歳児クラスでは家庭での生活時間を考慮し、保育所での個別日課を作成している。その結果、一人ひとりの生活リズムに応じて、授乳や排せつなど丁寧に行うことができています。 5については、睡眠チェックを0歳児は5分おきに、1歳児は10分おきに実施。記入方法は簡潔な方法で行っている。
3. 乳児保育 (全12項目)		1	2	3	4	
1	室内の温度や湿度、換気をチェックしていますか	70%	30%	0%	0%	
2	抱いて目を合わせたり、微笑みかけたりしながら、ゆったりと授乳していますか	80%	20%	0%	0%	
3	おむつの交換は、優しく声を掛けながら行っていますか	63%	38%	0%	0%	
4	一人ひとりの生活リズムに合わせて睡眠がとれるように、静かな空間を確保していますか	57%	43%	0%	0%	
5	睡眠時に乳児の様子を把握する方法は、どの職員もすぐに理解できる適切な方法で行っていますか	67%	29%	5%	0%	
保育所としての自己評価		1 ほぼ実施				
5. 障害のある子どもの保育 (全6項目)		1	2	3	4	障害のある子どもに対し、保護者との話し合いのもと、個別支援計画を立てて保育を行っている。子ども自身の成長発達に合わせ、関係機関からの助言も取り入れながら生活の自立に向けて援助を行っている。丁寧な個別対応、観察を行うことで、子どもの育ちつつある姿を認め、意欲を引き出せるよう働きかけている。行事に関しては、子どもが楽しみ、能力を発揮できる内容をなすよう工夫を行っている。話し合いを定期的に持ち、園全体で支援していく体制を取っている。保育者が愛情を持って接することで子どもたちがお互いを認め合い、尊重する雰囲気が生れていると感じる。
1	園での生活仕方について、障害のある子どもの特性に合わせた個別支援計画を立てて保育を行っていますか	60%	40%	0%	0%	
2	障害のない子どもも障害のある子どもも、互いの良さを感じ取るように配慮していますか	53%	47%	0%	0%	
3	障害のある子どもの保育について、園全体で定期的に話し合う機会をもつよう配慮していますか	43%	48%	10%	0%	
4	障害のある子どもの保護者の気持ちを受け止め、信頼されるよう努めていますか	42%	58%	0%	0%	
5	障害のある子どもの保護者と話し合う場を日常的に設け、保護者への支援を心がけていますか	30%	70%	0%	0%	
保育所としての自己評価		1 ほぼ実施				
6. 子どもの人権 (全4項目)		1	2	3	4	4については、令和2年11月に園内で研修の機会を作った。まだ、参加できていない職員がいることを踏まえ、今後も開催と参加促進を行っていききたい。
1	「男(女)の子だから〇〇しなさい」などと、行動(態度)について、性差への先入観による固定的な対応をしないように配慮していますか	58%	39%	3%	0%	
2	子どもの国籍や文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮していますか	57%	39%	4%	0%	
3	子どもの人権への配慮や、互いに尊重する心を育てるよう配慮していますか	58%	39%	3%	0%	
4	あなたは、子どもの権利養護に関する研修に参加したことがありますか(CAP可)	52%	30%	7%	11%	
保育所としての自己評価		1 ほぼ実施				
第4章 保育の計画及び評価		評価(割合)				2については、令和2年度、さらに遊びを通して様々な能力を育むことを目的に週案の様式を変更を行った。 3. 4については、評価・振り返りの欄を設け、次週の計画に活かしている。
1. 保育の計画 (1)保育課程 (全5項目)		1	2	3	4	
1	指導計画を養護的側面(基礎的事項)と教育的事項(5領域)の両面を考慮して作成していますか	73%	27%	0%	0%	
2	週案などの指導計画は、子どもの興味や関心、意欲に合わせて活動が展開できるように作成していますか	67%	33%	0%	0%	
3	あなたの指導計画の反省・評価は、次の指導計画作成に反映できるものとなっていますか	62%	38%	0%	0%	
4	日々の個人記録を、子ども一人ひとりの発達過程の把握に生かしていますか	81%	19%	0%	0%	
5	子どもの個人記録などは、個人情報保護法や守秘義務に基づいて管理していますか	94%	6%	0%	0%	
保育所としての自己評価		1 ほぼ実施				
2. 小学校との連携 (全4項目)		1	2	3	4	2については、令和2年度から詳細に記録されている内容を簡潔にまとめることとした。
1	保育所保育が小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることを理解していますか	72%	28%	0%	0%	
2	普段の保育記録が「保育所児童保育要録」の記入に役立つように整理されていますか	47%	47%	0%	7%	
3	あなたは園長や主任との間で、質問したり意見を交わしたりできますか	54%	39%	7%	0%	
4	あなたは、園長や主任からの意見を、謙虚に受け止めることができますか	79%	21%	0%	0%	
保育所としての自己評価		1 ほぼ実施				

項目		評価(割合)				意見・改善点
第5章 健康及び安全		評価(割合)				2については、玄関掲示板にて周知をしている。 3については、送迎時に子どもの様子を踏まえて、必要に応じて話をしている。また、看護師や管理栄養士によるおたよりを定期的に発行し、健康についての啓発を行っている。
	1. 子どもの健康支援 (全4項目)	1	2	3	4	
1	子どもの日々の健康状態を把握し、それを一人ひとりの保育に生かしていますか	52%	48%	0%	0%	
2	感染症が発生した時、発生の状況や予防対策などをすぐに保護者に連絡していますか	64%	36%	0%	0%	
3	家庭では、子どもが十分に睡眠をとるなどして健康な生活リズムを身につけるよう保護者への啓発に努めていますか	46%	54%	0%	0%	
4	子ども一人ひとりの健康状態などを、職員相互で確認していますか	61%	33%	3%	0%	
保育所としての自己評価		1 ほぼ実施				
	2. 環境及び衛生管理 (全4項目)	1	2	3	4	1については、室温18℃以上、湿度60%を保つようにし、換気もを行っている。 3については、園庭での活動前に点検を行い、清潔の保持に努めている。 4については、遊具は殺菌庫にて消毒を行っている。
1	子どもが活動しやすいように、その都度、保育室の換気や温度・湿度に配慮していますか	78%	22%	0%	0%	
2	適宜、手洗い場やトイレを清掃し、清潔に保つようになっていますか	72%	28%	0%	0%	
3	砂場は、動物の侵入を防いだりするなど、衛生面に配慮していますか	61%	39%	0%	0%	
4	玩具・遊具については、適宜、衛生面に配慮していますか	63%	38%	0%	0%	
保育所としての自己評価		1 ほぼ実施				
	3. 安全管理 (全5項目)	1	2	3	4	1については、視覚的教材も用いながら指導を行い、危険な場面があった場合はその都度指導を行っている。 3については、2か月に1回交通教室にて学んでいる。 4. 5については、火災・地震・不審者避難訓練、事故対応訓練等を定期的に実施している。
1	子どもが危険な場所、危険な遊びが分かり、安全に気を付けて行動するよう指導していますか	56%	44%	0%	0%	
2	手洗い場の滑り止めをはじめ、必要な個所の転倒防止の対策をしていますか	56%	41%	4%	0%	
3	交通安全の習慣が子どもの身につくように指導していますか	53%	47%	0%	0%	
4	災害時に安全に避難できるようにするための訓練を行っていますか	70%	30%	0%	0%	
5	不審者が園内に侵入した際、あなたはどのように対応するのかを理解していますか	61%	33%	3%	0%	
保育所としての自己評価		1 ほぼ実施				
	4. 食育の推進 (全5項目)	1	2	3	4	2については、令和2年度は畑ですいかやさつまいもを栽培、収穫してして、キャンプのすいかわりや焼き芋を行って楽しんだ。主に幼児組(3~5歳児)の活動となったので、今後は2歳児も栽培の観察などをいきたい。 3. 5については、管理栄養士を保育士が話し合っって食育計画を立案し、視覚的教材も活用しながら食育を行っている。
1	子どもが落ち着いて食事・おやつを楽しめるように、雰囲気作りなどを工夫していますか	55%	45%	0%	0%	
2	子どもが栽培・収穫したもの、調理したものを食べるなどの機会を作るよう心がけていますか	44%	44%	11%	0%	
3	絵本など視聴覚教材を通じて、食べ物に興味や関心を持つことができるように働きかけていますか	33%	59%	7%	0%	
4	その日の昼食の食べ具合などを、必要に応じて保護者に知らせていますか	67%	30%	4%	0%	
5	子どもが楽しく食べることができるように、食育の計画を作成していますか	67%	33%	0%	0%	
保育所としての自己評価		1 ほぼ実施				

項目		評価(割合)				意見・改善点
第6章 保護者に対する支援		評価(割合)				1については、送迎の際は担任から保育の様子を伝えるよう努めている。また、直接保育の様子を見ていただけるよう施設内に入っていただいている。(コロナ感染防止のため時期により立ち入り制限あり) 2. 令和2年度は希望保護者対象に個別面談実施した。あらためて時間を取ることで、普段できない話ができてよかったと好評だった。 3. 保護者のご意見に対しては保育に取り入れるよう前向きに検討を行い、なるべく早く回答をするように努めた。 5. 保育の実践内容は、玄関掲示板による掲示、おたより掲載、毎日の会話の中で説明している。
1. 保育所に入所している子どもの保護者に対する支援 (全5項目)		1	2	3	4	
1	送迎の際に、保護者と必ず言葉を交わすようにしていますか	65%	29%	6%	0%	
2	一人ひとりの保護者と、必要に応じて個別に面談を行っていますか	67%	33%	0%	0%	
3	保護者の考えや提案を積極的に聞き、適切と思うものについては保育に取り込むように努めていますか	65%	35%	12%	0%	
4	保護者からの相談内容などを、担任一人の問題にしないで、園全体で受け止めようとしていますか	67%	33%	0%	0%	
5	自分の保育実践の内容や意図を、分かりやすく保護者に説明することができますか	47%	47%	0%	5%	
保育所としての自己評価		1 ほぼ実施				
2. 地域における子育て支援 (全2項目)		1	2	3	4	1については、町主催の虐待対応研修に参加したり、町作成の「子ども虐待対応マニュアル」を参照したりしながら、実際には的確に行動できるようにしている。 2については、令和2年度は感染症対策を講じながら、利用者の受け入れ拡充を行い、地域支援を行った。病気やけがの際は事前に確認した連絡方法にて行っている。 ・医療的ケア児については、医療機関や西彼保健所、福祉サービスと連携を取り、安全面に十分配慮しながら保育を行うことができた。 ・実習生受け入れの際は、事前に面談を行い、実習生の学年、経験、知識、実習の目的やねらいの共有を行い、計画を立てて指導を行っている。
1. 虐待を疑われる子どもの情報を得た時、要保護児童対策地域協議会や児童相談所などの機関に照会、通告を行う園の体制を理解していますか		1	2	3	4	
1	虐待を疑われる子どもの情報を得た時、要保護児童対策地域協議会や児童相談所などの機関に照会、通告を行う園の体制を理解していますか	53%	43%	3%	0%	
2	一時保育のときにも、子どもの発熱や怪我の際に、保護者に連絡を取る方法を知っていますか	74%	26%	0%	0%	
保育所としての自己評価		1 ほぼ実施				
3. 地域や関係機関と連携 (全4項目)		1	2	3	4	
1	子どもの医療や保健に関する問題について、連絡・相談すべきところを知っていますか	29%	61%	7%	0%	
2	園の周辺の住民と良好な関係を築けるよう、日常の挨拶などを心がけていますか	74%	26%	0%	0%	
3	中高生や大学生などの保育体験を受け入れるときには、その目的や意義を理解・確認していますか	64%	36%	0%	0%	
4	実習生を受け入れる時には、意義や方針を理解し、あなたが指導的立場にあることを意識していますか	64%	36%	0%	0%	
保育所としての自己評価		1 ほぼ実施				
第7章 保育を支える組織的基盤 (全6項目)		1	2	3	4	令和2年は新型コロナウイルス感染防止対策として、園内外の研修の中止が相次いだ。オンライン研修を活用し、これまで参加できなかった遠方で開催される研修に参加することができた。また、無料のオンライン研修に参加し、自己研鑽を積む機会を持てた。
1. 会議などでは、子どもの最善の利益を尊重して発言していますか		1	2	3	4	
1	会議などでは、子どもの最善の利益を尊重して発言していますか	35%	58%	8%	0%	
2	園の内外における研修・研究活動に積極的に参加していますか	19%	85%	16%	6%	
3	同僚のそれぞれの役割と、あなたが果たすべき役割とを理解していますか	47%	50%	3%	0%	
4	研修に参加したり専門書を読むなどして、保育に関わる様々な知識や技能の向上に努めていますか	37%	47%	17%	0%	
5	国や自治体の公刊物、インターネットなどで、保育関係の情報を日頃から収集するように心がけていますか	16%	65%	19%	0%	
保育所としての自己評価		1 ほぼ実施				